

令和3年度（公財）千葉県消防協会事業報告書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

近年の自然災害は多様化・大規模化しており、東日本大震災以降も、地震、集中豪雨、台風、火山噴火、豪雪等による大規模な災害が多発し、全国各地に甚大な被害をもたらしています。令和3年7月には、停滞した梅雨前線による豪雨により静岡県熱海市では大規模な土石流が発生し、多くの人命や財産が失われました。

また、令和2年1月に日本で初めて感染が確認された新型コロナウイルス感染症については、感染力の強い変異株などにより感染拡大が止まらず、緊急事態宣言が発令されるなど三密回避、人流抑制と社会生活全体に大きな変化が求められました。

こうした中で、消防防災の要である常備消防及び消防団の一層の充実強化が求められており、当協会としても、平成25年に制定された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の趣旨を踏まえ、時代に対応した総合的な消防防災対策の充実強化を図っていくため、令和3年度についても、消防組織の消防防災能力の向上に資する公益目的事業、消防職・団員の福利向上及び弔意救済等の相互扶助事業などを実施しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和3年度に千葉県消防学校で開催予定であった第28回全国消防操法大会や多くの市町村等の出初式などが中止となりました。

I 公益目的事業

1 防災思想普及事業

災害等から生命、身体及び財産を守り被害を最小限に食い止めるため各家庭・企業を問わず県民一人ひとりが常日頃から災害に対する関心を持ち出火防止、初期消火、応急救護等の適切な活動が身につけられるよう、知識及び技術の普及啓発、防災訓練の充実、防火組織の活動促進等を図った。

(1) 機関誌「消防千葉」の発行

広く地域住民の消防に対する理解と協力を得るとともに、消防防災思想のなお一層の普及を図るため機関誌「消防千葉」を年間6回発行し、市町村をはじめ関係機関等に配布した。

ア 市町村関係	24,000部
イ 官公署	2,250部
ウ 県内外各種団体・学校・図書館等	3,750部
計	30,000部

(2) 「千葉県消防操法」の発行・販売

消防職員及び消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、迅速、的確かつ実践的な基本訓練を展開し、火災防御に万全を期するため、教本（第5次改訂版）の販売を行った。

・令和3年度 販売数386冊

(3) 令和3年度千葉県消防関係定例表彰授与

消防職員及び消防団員の日頃からの献身的な活動や功績を称えるためまた、防災思想の普及啓発にも資することから、消防・防災に功労・功績のあった消防機関及び消防功労者に対し表彰授与を行うものである。

なお、表彰授与の場である千葉県消防大会（千葉県、千葉県少年婦人防火委員会及び当協会との共催）は、令和4年3月23日に開催予定だったが新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となった。

《 受 章 者 》

- | | |
|--|------------|
| ① 消防庁長官表彰 | |
| 功 労 章 | 5名 |
| 永年勤続功労章 | 96名 |
| 東京オリンピック・パラリンピック競技大会
消防特別警戒消防庁長官賞状 | 21団体 |
| ② 千葉県知事表彰 | |
| 特 別 功 労 章 | 15名 |
| 永年勤続功労章 | 60名 |
| 感 謝 状（配偶者功労） | 39名 |
| 千葉県石油コンビナート等防災関係知事表彰
消防団協力事業所感謝状 | 1団体
5団体 |
| ③ 日本消防協会会長表彰 | |
| 功 績 章 | 33名 |
| 精 績 章 | 79名 |
| 勤 続 章 | 242名 |
| ④ 千葉県消防協会会長表彰 | |
| 特 別 功 労 章 | 6名 |
| 永年勤続功労章 | 321名 |
| 感 謝 状（配偶者功労） | 246名 |
| 功 績 章 | 33名 |
| ⑤ 日本防火・防災協会会長表彰 | 1名 |
| ⑥ 千葉県少年婦人防火委員会会長表彰 | |
| ・優良幼年消防クラブの部 | |
| 船橋市：ローゼンかみやま保育園幼年消防クラブ | |
| ・優良少年消防クラブの部 | |
| 市原市：市原市立国分寺台東小学校少年消防クラブ | |
| ・優良婦人防火クラブの部 | |
| 松戸市：虹の街女性防火クラブ | |
| ⑦ 総務省消防庁「消防団PRムービーコンテスト」最優秀賞
市川市消防団 | |

(4) 全国火災予防運動の実施

総務省消防庁が提唱する全国火災予防運動を、千葉県とともに実施した。

秋季の全国火災予防運動では、消防（局）本部・千葉県少年婦人防火委員会の協賛により防火ポスター10,000枚を作成し、消防（局）本部市町村等に配布した。

- ア 秋季全国火災予防運動期間 令和3年11月9日～11月15日
- イ 春季全国火災予防運動期間 令和4年3月1日～3月7日
- ウ 重点目標

- ・住宅防火対策の推進（秋季・春季）
- ・乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進（秋季・春季）
- ・放火火災防止対策の推進（秋季・春季）
- ・特定防火対象物等における防火安全対策の徹底（秋季・春季）
- ・製品火災の発生防止に向けた取組の推進（秋季・春季）
- ・多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底（秋季・春季）
- ・林野火災予防対策の推進（春季）

(5) 第42回九都県市合同防災訓練・千葉県会場の実施

大規模な地震災害を想定し、県や市、各防災機関が連携した救出救助訓練更には、「自助」、「共助」、「公助」の相互のつながりを強化し、地域防災力の向上を目的に、第42回九都県市合同防災訓練（千葉県会場）を、大網白里市において実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、市民県民が多数参加する訓練は中止し、物資輸送訓練のみを実施した。

- ア 実施日 令和3年11月1日（月）
- イ 開催場所 大網白里市内ほか
- ウ 参加機関 6機関
- エ 参加人員 67人

(6) 防災活動団体への助成支援

火災予防思想の高揚を目指す千葉県少年婦人防火委員会及び地域の自主防災組織である婦人防火クラブ、幼年・少年消防クラブの活動を支援した。

また、婦人消防等自主防災組織が実施する防火、防災活動を助長し、災害の減少及び被害の軽減等を図るため活動費を助成した。

ア 千葉県少年婦人防火委員会への支援

優良な幼年・少年消防クラブ及び婦人防火クラブを表彰するとともに千葉県と共催で防火防災のポスターを募集（1,338点応募）し、優秀作品を表彰するとともに記念品を贈呈した。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、表彰式は中止となった。

イ 千葉県婦人防火クラブ連絡協議会への支援

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、研修会は中止となったが、会議の開催や防火思想の普及啓発活動への支援を行った。

2 教育訓練事業

消防・防災能力の拡充のため、消防職員及び消防団員による基礎的・専門的な知識と技能の向上、消防操法に関する普及、訓練成果の発表並びに消防関係機関の協力・連携等を図った。

(1) 消防団員指導員研修の実施

昭和44年度から（公財）日本消防協会の受託事業として実施している研修で、令和3年度も千葉県消防学校へ指導協力を依頼し、組織活動を行う消防団員として必要な基礎的技術訓練及び火災防御・現場指揮の向上を図り

消防団運営の活性化に資するため実施した。

ア 実施日 令和3年11月20日～21日

イ 開催場所 千葉県消防学校

ウ 研修者 40人

(2) 修学奨励金等の交付

消防職員及び消防団員の資質の向上を図るため、消防大学校及び千葉県消防学校への入校を奨励し、所定の課程を修了又は卒業した者、また日本消防協会の実施する所定の研修を修了した者に対して、千葉県消防協会修学奨励金等贈与規程に基づき修学奨励金等を交付した。

令和3年度 交付状況

修学課程		人員	修学奨励金等
消防大学校	消防団長科	1	修学奨励金
	各課	11	記念品
県消防学校	初任科	261	記念品
	専科	489	記念品
	消防団訓練	107	記念品
日本消防協会	消防団幹部特別研修及び 消防団幹部候補中央特別研修	リモート 3	なし
計		872	

(3) 第57回千葉県消防操法大会

令和3年7月10日に千葉県消防学校において開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、千葉県消防操法大会は中止となった。

(4) 第28回全国消防操法大会

令和3年10月29日に千葉県消防学校において開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全国消防操法大会は中止となった。

(5) 第26回全国女性消防団員活性化徳島大会

令和3年11月9日に徳島市において開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全国女性消防団員活性化徳島大会は中止となった。

(6) 令和3年度千葉県女性消防団員活性化シンポジウム

令和4年2月1日に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、千葉県女性消防団員活性化シンポジウムは中止した。

(7) 諸会議の開催

消防関係機関との協働、連絡調整、意見交換等のため、諸会議を開催した。

ア 県下市町村消防長・消防団長会議の開催

当消防協会から事業計画、予算等の説明を行うとともに、千葉県防災危機管理部、千葉県消防学校及び(公財)日本消防協会から当面する諸問題等について、意見交換等を行った。

会議終了後、「近年の風水害の特徴と消防団の活動について」と題して千葉科学大学副学長 藤本一雄氏の講演会を開催した。

(ア) 開催日 令和3年10月29日

(イ) 開催場所 市原市市民会館

イ 地域振興事務所等との消防業務連絡会議

千葉県防災危機管理部、千葉県消防学校及び当消防協会から、諸事業及び連絡事項等の説明を行った。

(ア) 開催日 令和3年4月8日

(イ) 開催場所 千葉県消防学校・防災研修センター

3 弔慰救済事業

郷土防災の使命を果たしその職に殉じられた御霊を慰め、併せて防災思想の普及等を図るため、消防殉職者慰霊祭を実施した。

(1) 第57回消防殉職者慰霊祭の実施

昭和4年3月「千葉県殉職消防組員警防団員の碑」として霊を祀って以来合祀された殉職者の慰霊は、消防組時代29柱、警防団時代11柱、消防(局)本部・消防団時代50柱、消防協力者6柱の96柱を数えるに至っている。

慰霊碑前で合同慰霊祭を執り行い、郷土防災の使命を果たしその職に殉じた御霊を慰め、併せて消防士気の高揚と防災思想の普及に努めた。

ア 主催 公益財団法人千葉県消防協会

イ 後援 千葉県・公益財団法人日本消防協会

ウ 実施日 令和3年11月12日(金)

エ 場所 千葉県消防学校屋内訓練場

オ 参加人員 140人

4 報償事業

消防士気の高揚等を図るため、消防防災に功労・功績のあったものに対し特別功労章、永年勤続功労章、功績章、功労章、精勤章等の表彰を行った。

(1) 市町村消防出初式での表彰

令和4年新春の出初式は、多くの市町村で新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となったが、実施された市町村では表彰が行われた。

(2) 千葉県消防大会での表彰

受章者を表彰するため、令和4年3月23日に開催予定だった千葉県消防大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となった。

・支部別受章者数一覧

	千葉	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	合計
日本消防協会長	50	97	74	16	14	22	12	45	11	13	354
功績章(一般)	4	6	6	2	2	3	2	2	2	3	32
功績章(女性)	1										1
精績章(一般)	10	15	13	5	5	7	4	5	6	7	77
精績章(女性)		2									2
勤続章	35	74	55	9	7	12	6	38	3	3	242

	千葉	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	合計	
千葉県消防協会長	145	260	212	36	55	88	59	88	75	59	1,077	
出初式	63	97	77	31	33	43	24	28	34	41	471	
功 勞 章	16	24	19	7	8	11	6	7	8	10	116	
精 勤 章	47	73	58	24	25	32	18	21	26	31	355	
消防大会	82	163	135	5	22	45	35	60	41	18	606	
特別功労章	1	2					1		1	1	6	
永年勤続功労章	41	85	72	2	12	27	19	35	20	8	321	
功 績 章	4	7	6	2	2	3	2	2	2	3	33	
表彰状	個 人											
	団 体											
感謝状	配偶者	36	69	57	1	8	15	13	23	18	6	246
	全国操											
合計	195	357	286	52	69	110	71	133	86	72	1,431	

5 支部活動事業

(1) 支部消防操法大会

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、支部操法大会は中止となった。

(2) 支部長表彰及び消防防災知識の普及

消防活動に対する功労・功績と士気高揚のため、優秀な団員に対して支部長表彰を行った。

また、地域での研修や春・秋の全国火災予防運動において、消防防災知識の普及を図った。

II 収益等事業

1 消防団福祉共済事業

(1) 福祉共済制度への加入促進

(公財) 日本消防協会による全国の消防団員等の相互扶助による共済制度で、地域の安全・安心を担う消防団員等が安心して消防防災活動を行うことができるようにするための制度であることから、本制度への加入促進を図った。

本県では、43消防団の消防団員(22,467人)、消防職員5団体(409人)、自主防災隊3団体(30人)及び当消防協会(43人)が加入している。

・令和3年度の交付実績

種 類	件 数	金 額
遺 族 援 護 金	12	12,000,000円
生 活 援 護 金		
障 害 見 舞 金	1	300,000円
入 院 見 舞 金	70	2,235,000円
合 計	83	14,535,000円

(2) 火災共済制度への加入促進

生活協同組合全日本消防人共済会による全国の消防職員、消防団員及び消防関係者等の加入者の不慮の災害による損害を補償するための共済制度であり、この制度への加入促進を図った。

・加入者 2,197人

(3) 婦人消防隊員等福祉共済制度への加入促進

(公財)日本消防協会による共済制度であり、婦人消防隊員等の福利厚生を図るため、平成4年度から実施しているもので、隊務以外の災害や疾病に対する保障も兼ね備えており、本県では3団体の婦人防火・消防クラブ員が加入している。

・令和3年度 共済金支給該当者なし

(4) 消防個人年金制度への加入促進

消防職員及び消防団員がゆとりある将来・安定した将来に備えるため(公財)日本消防協会が実施する消防個人年金制度で、その加入促進を図った。

・加入者 95人

(5) 消防育英会による奨学金の給付

(公財)消防育英会が実施する奨学金制度で、消防職員及び消防団員が殉職又は公務上身体に障害が残った場合及び県民が消防の職務に協力援助し同様の被災をした場合、殉職者等の子弟に対し奨学金等を給付する制度である。

・令和3年度 該当者なし

(6) 福祉増進事業助成

消防団員の健康増進等に資するため(公財)日本消防協会の消防団員等福祉共済制度による助成を受け、健康増進機器等の交付及びスポーツ大会等の経費の一部を助成した。

ア 健康器具等の購入配布

48消防団(1消防団32,000円以内)

イ スポーツ行事助成

1消防団(1消防団50,000円)

(7) 傷病見舞金の贈呈

弔慰救済金給付規程に基づき職務のため傷病を受けた者等に対し、次のとおり見舞金等を贈呈した。

- ・傷病見舞金 5人 120,000円

2 退職者報償事業

表彰規程に基づき、退団された会員で在職中の功績が特に顕著な者に対し次のとおり金盃・感謝状を贈呈した。

- ・令和3年度の交付状況 (単位：人)

支部名	人数	支部名	人数
千葉	54	長生	—
東葛飾	35	夷隅	—
印旛	8	安房	11
香取	83	君津	61
海匝	22	協会	11
山武	—	計	285

3 施設貸与事業

千葉県消防会館の空き室について有償で貸与する事業であるが、利用はなかった。

III 法人活動事業

1 諸会議への出席

千葉県や（公財）日本消防協会等の諸会議及び諸行事に出席し、情報収集意見交換等を行った。

- ・全国消防操法大会関係機関打合せ会 令和3年 4月 7日 消防学校
- ・全国消防操法大会運営委員会 令和3年 4月20日 日本消防協会
- ・学生消防隊担当者会議 令和3年 4月23日 千葉県庁
- ・消防団員の処遇等に関する検討会 令和3年 5月17日 消防庁リモート
- ・消防団員の処遇等に関する検討会 令和3年 6月16日 消防庁リモート
- ・日本消防協会定時評議員会 令和3年 6月17日 書面決議
- ・消防団員の処遇等に関する検討会 令和3年 6月30日 消防庁リモート
- ・日本消防協会臨時評議員会 令和3年 7月15日 書面決議
- ・千葉県消防学校運営協議会 令和3年 7月21日 消防学校
- ・九都県市合同防災訓練主催3者
事務主管課長会議 令和3年 8月20日 千葉県庁
- ・千葉県消防学校運営協議会
教育訓練部会 令和3年 9月28日 消防学校
- ・全国消防操法大会関係機関打合せ会 令和3年10月22日 消防学校
- ・学生消防隊担当者会議 令和3年11月30日 千葉県庁
- ・都道府県消防協会事務局長会議 令和4年 2月 9日 書面開催
- ・全国消防操法大会関係機関打合せ会 令和4年 2月21日 書面開催

- ・日本消防協会評議員会 令和4年 3月11日 書面決議
- ・全国消防操法・千葉大会防災啓発事業等準備会 令和4年 3月25日 書面決議

2 理事会、評議員会等の開催

- 令和3年5月14日

評議員会	書面決議 決議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員並びに理事、支部長の一部辞任に伴う後任の評議員等の選任
	同意	評議員全員 20名

- 令和3年5月20日

監事会	開催場所 審査事項 出席等	千葉県消防学校 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告、収支決算 監事全員4名
-----	---------------------	---

- 令和3年5月25日

定時理事会	開催場所 決議事項	ポートプラザちば <ul style="list-style-type: none"> ・副会長の選定、顧問の推薦 ・令和2年度事業報告、収支決算の承認 ・評議員会の開催決定
	報告事項 出席等	職務執行状況、令和3年度主要行事予定 理事16名 監事4名

- 令和3年6月9日

定時評議員会	開催場所 決議事項	ポートプラザちば <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告 ・令和2年度収支決算の承認
	出席等	評議員18名 理事3名

- 令和3年12月23日

臨時理事会	書面開催 報告事項	職務執行状況、令和4年の出初式の日程
-------	--------------	--------------------

- 令和4年3月9日

定時理事会	開催場所 決議事項	ポートプラザちば <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度収支補正予算の承認 ・令和4年度事業計画の承認 ・令和4年度収支予算、資金調達等書類の承認 ・再雇用規程の制定 ・評議員会の開催決定
	報告事項 出席等	職務執行状況、令和4年度主要行事予定 理事16名 監事4名

○ 令和4年3月17日

臨時評議員会

開催場所

ポートプラザちば

決議事項

- ・令和3年度収支補正予算の承認
- ・令和4年度事業計画の承認
- ・令和4年度収支予算、資金調達等書類の承認

報告事項

令和4年度主要行事予定

出席等

評議員15名 理事3名

事業報告附属明細書

令和3年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和4年5月

公益財団法人千葉県消防協会

令和3年度公益財団法人千葉県消防協会決算に関する書類

(1) 貸借対照表

令和4年3月31日現在

科	目	当年度	前年度	増減
		円	円	円
I	資産の部			
1.	流動資産			
	現金預金	28,659,422	26,047,731	2,611,691
	現金	0	0	0
	普通預金	28,659,422	26,047,731	2,611,691
	棚卸資産	1,063,443	1,276,052	△ 212,609
	流動資産合計	29,722,865	27,323,783	2,399,082
2.	固定資産			
	(1) 基本財産			
	投資有価証券	108,670,645	108,670,645	0
	定期預金	429,355	429,355	0
	基本財産合計	109,100,000	109,100,000	0
	(2) 特定資産			
	弔慰引当資産	9,758,256	9,458,256	300,000
	会館準備積立資産	24,176,401	24,176,401	0
	特定資産合計	33,934,657	33,634,657	300,000
	(3) その他固定資産			
	建物	7,349,449	7,702,461	△ 353,012
	工作物	340,000	340,000	0
	車両運搬具	139,500	139,500	0
	その他固定資産合計	7,828,949	8,181,961	△ 353,012
	固定資産合計	150,863,606	150,916,618	△ 53,012
	資産合計	180,586,471	178,240,401	2,346,070
II	負債の部			
1.	流動負債			
	(1) 未払金	785,217	208,175	577,042
	(2) 預り金	2,067,037	2,113,523	△ 46,486
	(3) 賞与引当金	1,166,000	1,068,000	98,000
	流動負債合計	4,018,254	3,389,698	628,556
2.	固定負債			
	固定負債合計	0	0	0
	負債合計	4,018,254	3,389,698	628,556
III	正味財産の部			
1.	指定正味財産	0	0	0
	指定正味財産合計	0	0	0
	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2.	一般正味財産	176,568,217	174,850,703	1,717,514
	(うち基本財産への充当額)	109,100,000	109,100,000	0
	(うち特定資産への充当額)	33,934,657	33,634,657	300,000
	正味財産合計	176,568,217	174,850,703	1,717,514
	負債及び正味財産合計	180,586,471	178,240,401	2,346,070

(2) 正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	656,203	656,803	△ 600
基本財産受取利息	656,203	656,803	△ 600
② 受取会費	270,000	270,000	0
準会員受取会費	270,000	270,000	0
③ 受取補助金等	30,866,266	33,266,930	△ 2,400,664
受取地方公共団体補助金	21,600,000	23,800,000	△ 2,200,000
受取日本消防協会補助金	5,408,028	5,513,598	△ 105,570
受取福祉共済事業補助金	3,858,238	3,953,332	△ 95,094
④ 事業収益	1,092,000	640,000	452,000
機関誌広告料収益	320,000	320,000	0
消防操法販売収益	772,000	320,000	452,000
⑤ 受取負担金	15,487,040	18,803,750	△ 3,316,710
受取市町村負担金	13,100,000	13,111,000	△ 11,000
受取支部事業負担金	2,271,580	5,577,360	△ 3,305,780
受取消防人共済会負担金	115,460	115,390	70
⑥ 雑収益	54,827	98,800	△ 43,973
雑収益	28,658	96,746	△ 68,088
支部雑収益	26,169	2,054	24,115
経常収益計	48,426,336	53,736,283	△ 5,309,947
(2) 経常費用			
① 事業費	38,320,868	39,263,389	△ 942,521
役員報酬	6,773,420	8,243,009	△ 1,469,589
給料手当	12,521,689	12,584,594	△ 62,905
福利厚生費	2,500,317	3,305,069	△ 804,752
賞与引当金繰入額	1,119,360	1,025,280	94,080
会議費	679,453	530,977	148,476
旅費交通費	123,057	140,083	△ 17,026
通信運搬費	793,604	608,460	185,144
減価償却費	312,063	327,533	△ 15,470
消耗什器備品費	237,134	252,670	△ 15,536
消耗品費	4,657,152	3,393,207	1,263,945

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
印刷製本費	1,911,646	1,602,810	308,836
燃料費	91,354	93,202	△ 1,848
借損料	49,100	53,465	△ 4,365
諸謝金	50,000	50,000	0
退職者報償費	875,930	1,687,950	△ 812,020
支払助成金	561,364	538,199	23,165
福祉増進事業助成金	1,609,000	1,520,960	88,040
修学奨励費	616,600	782,200	△ 165,600
図書費	174,061	19,763	154,298
葬祭費	615,329	466,849	148,480
定列表彰費	824,400	878,722	△ 54,322
傷病見舞金	120,000	90,000	30,000
報償費	892,226	905,259	△ 13,033
商品仕入額	212,609	163,128	49,481
② 管理費	8,387,954	7,149,818	1,238,136
役員報酬	272,331	152,785	119,546
給料手当	182,188	153,539	28,649
福利厚生費	1,396,717	351,699	1,045,018
賞与引当金繰入額	46,640	42,720	3,920
会議費	48,524	40,640	7,884
旅費交通費	33,606	2,680	30,926
通信運搬費	333,722	470,254	△ 136,532
減価償却費	40,949	42,979	△ 2,030
消耗什器備品費	99,755	57,940	41,815
消耗品費	936,665	1,006,345	△ 69,680
修繕費	190,790	0	190,790
印刷製本費	12,100	26,950	△ 14,850
光熱水費	553,102	488,702	64,400
貸借料	470,475	476,213	△ 5,738
借損料	999,837	1,221,895	△ 222,058
災害保険料	59,340	62,930	△ 3,590
諸謝金	344,000	380,000	△ 36,000
租税公課	478,110	380,500	97,610
手数料	267,682	248,932	18,750
負担金	933,346	828,100	105,246
委託料	523,600	524,397	△ 797
交際費	164,475	189,618	△ 25,143
經常費用計	46,708,822	46,413,207	295,615

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
評価損益等調整前経常増減額	1,717,514	7,323,076	△ 5,605,562
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,717,514	7,323,076	△ 5,605,562
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度修正益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
過年度修正損			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,717,514	7,323,076	△ 5,605,562
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,717,514	7,323,076	△ 5,605,562
一般正味財産期首残高	174,850,703	167,527,627	7,323,076
一般正味財産期末残高	176,568,217	174,850,703	1,717,514
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	176,568,217	174,850,703	1,717,514

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1	小計	収1		小計			
			施設貸与事業	他1 消防職・団員を対象とした消防互助事業及び各種共済事業				
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産運用益								
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	656,203	0	656,203
② 受取会費								
準会員受取会費	270,000	270,000	0	0	0	0	0	270,000
③ 受取補助金等								
受取地方公共団体補助金	21,600,000	21,600,000	0	0	0	0	0	21,600,000
受取日本消防協会補助金	3,680,364	3,680,364	0	1,717,000	1,717,000	10,664	0	5,408,028
受取福祉共済事業補助金	0	0	0	47,858	47,858	3,810,380	0	3,858,238
④ 事業収益								
機関誌広告料収益	320,000	320,000	0	0	0	0	0	320,000
消防操法販売収益	772,000	772,000	0	0	0	0	0	772,000
⑤ 受取負担金								
受取市町村負担金	7,170,000	7,170,000	0	1,183,000	1,183,000	4,747,000	0	13,100,000
受取支部事業負担金	2,271,580	2,271,580	0	0	0	0	0	2,271,580
受取消防人共済会負担金	0	0	0	0	0	115,460	0	115,460
⑥ 雑収益								
雑収益	0	0	0	0	0	28,658	0	28,658
支部雑収益	26,169	26,169	0	0	0	0	0	26,169
経常収益計	36,110,113	36,110,113	0	2,947,858	2,947,858	9,368,365	0	48,426,336
(2) 経常費用								
① 事業費								
役員報酬	6,737,338	6,737,338	0	36,082	36,082	0	0	6,773,420
給料手当	12,482,138	12,482,138	0	39,551	39,551	0	0	12,521,689
福利厚生費	2,500,317	2,500,317	0	0	0	0	0	2,500,317
賞与引当金繰入額	1,119,360	1,119,360	0	0	0	0	0	1,119,360
会議費	679,453	679,453	0	0	0	0	0	679,453
旅費交通費	123,057	123,057	0	0	0	0	0	123,057
通信運搬費	793,604	793,604	0	0	0	0	0	793,604
減価償却費	43,067	43,067	265,466	3,530	268,996	0	0	312,063
消耗什器備品費	237,134	237,134	0	0	0	0	0	237,134
消耗品費	4,657,152	4,657,152	0	0	0	0	0	4,657,152
印刷製本費	1,911,646	1,911,646	0	0	0	0	0	1,911,646
燃料費	91,354	91,354	0	0	0	0	0	91,354
借損料	49,100	49,100	0	0	0	0	0	49,100
諸謝金	50,000	50,000	0	0	0	0	0	50,000
退職者報償費	0	0	0	875,930	875,930	0	0	875,930
支払助成金	561,364	561,364	0	0	0	0	0	561,364
福祉増進事業助成金	0	0	0	1,609,000	1,609,000	0	0	1,609,000
修学奨励費	616,600	616,600	0	0	0	0	0	616,600
図書費	174,061	174,061	0	0	0	0	0	174,061
葬祭費	615,329	615,329	0	0	0	0	0	615,329
定例表彰費	824,400	824,400	0	0	0	0	0	824,400
傷病見舞金	0	0	0	120,000	120,000	0	0	120,000
報償費	892,226	892,226	0	0	0	0	0	892,226
商品仕入額	212,609	212,609	0	0	0	0	0	212,609
② 管理費								
役員報酬						272,331	0	272,331
給料手当						182,188	0	182,188
福利厚生費						1,396,717	0	1,396,717
賞与引当金繰入額						46,640	0	46,640
会議費						48,524	0	48,524
旅費交通費						33,606	0	33,606

(3) 財産目録

令和4年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	普通預金(本部)	千葉銀行 県庁支店	事業活動資金として	21,572,582
	普通預金(千葉支部)	千葉銀行 県庁支店	支部事業活動資金として	2,056,046
	普通預金(東葛飾支部)	千葉銀行 松戸市役所出張所	支部事業活動資金として	1,803,950
	普通預金(印旛支部)	千葉銀行 佐倉支店	支部事業活動資金として	170,802
	普通預金(香取支部)	千葉銀行 佐原支店	支部事業活動資金として	646,320
	普通預金(海匝支部)	千葉銀行 旭支店	支部事業活動資金として	185,171
	普通預金(山武支部)	千葉銀行 東金支店	支部事業活動資金として	158,904
	普通預金(長生支部)	千葉銀行 茂原支店	支部事業活動資金として	299,003
	普通預金(夷隅支部)	千葉銀行 大多喜支店	支部事業活動資金として	983,213
	普通預金(安房支部)	千葉銀行 館山支店	支部事業活動資金として	314,383
	普通預金(君津支部)	君津信用組合 本店	支部事業活動資金として	469,048
	普通預金(本部)	千葉銀行 松ヶ丘支店	図書斡旋販売受入口座として	0
	普通預金(本部)	千葉銀行 松ヶ丘支店	冊子・記章斡旋口座として	0
	普通預金(本部)	千葉銀行 松ヶ丘支店	日本消防協会斡旋口座として	0
	棚卸資産		操法解説書、タイピン等の在庫	1,063,443
流動資産合計				29,722,865
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	千葉県債・千葉市債	管理運営財産であり、運用益を法人会計の財源にしている。	108,670,645
	定期預金	千葉銀行 県庁支店	管理運営財産であり、運用益を法人会計の財源にしている。 (基本財産計)	429,355
特定資産	弔慰引当資産	千葉銀行 松ヶ丘支店	殉職者の弔慰金積立資産である。	109,100,000
	会館準備積立資産	三井住友信託銀行 千葉支店	消防会館修繕等準備預金 (特定資産計)	9,758,256
その他 固定資産	建物	千葉県消防会館	共用財産として管理している。	24,176,401
		千葉市中央区仁戸名町666-2	公益目的保有財産：12.2% 収益事業等その他の業務の用に供する財産：87.8%	33,934,657
	工作物	自家用受変電設備	共用財産として管理している。	7,349,449
		千葉市中央区仁戸名町666-2	公益目的保有財産：60.0% 収益事業等その他の業務の用に供する財産：40.0%	340,000
車両運搬具	トヨタマークII 1台	共用財産として管理している。 公益目的保有財産：60.0% 収益事業等その他の業務の用に供する財産：40.0% (その他固定資産計)	139,500	
固定資産合計				7,828,949
資産合計				150,863,606
(流動負債)				
未払金	会計システム使用料金等に対する未払金	公益目的事業、法人事業等における未払費用 (未払金計)	785,217	785,217
			785,217	785,217
預り金	社会保険、労働保険預り金	社会保険・雇用保険預り金 全国消防操法大会開催負担金 (預り金計)	67,037	67,037
			2,000,000	2,000,000
賞与引当金		夏季賞与に対する12～3月分の引当金 (賞与引当金計)	2,067,037	2,067,037
			1,166,000	1,166,000
流動負債合計				4,018,254
(固定負債)				
固定負債合計				0
負債合計				4,018,254
正味財産				176,568,217

(4) 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 平成24年度から「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会）を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券：購入時の取得価額によっている。なお、取得価額と債権金額との差額について重要性に乏しいため、償却原価法は採用していない。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
固定資産の減価償却方法は、定率法で行っている。
- (4) 引当金の計上基準
賞与引当金：
役職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (5) 棚卸資産の評価方法
棚卸資産の評価方法は、最終仕入原価法によっている。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税の経理処理は、税込方法によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	108,670,645	0	0	108,670,645
定期預金	429,355	0	0	429,355
小 計	109,100,000	0	0	109,100,000
特定資産				
弔慰引当資産	9,458,256	300,000	0	9,758,256
会館準備積立資産	24,176,401	0	0	24,176,401
小 計	33,634,657	300,000	0	33,934,657
合 計	142,734,657	300,000	0	143,034,657

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	108,670,645	(0)	(108,670,645)	(0)
定期預金	429,355	(0)	(429,355)	(0)
小 計	109,100,000	(0)	(109,100,000)	(0)
特定資産				
弔慰引当資産	9,758,256	(0)	(9,758,256)	(0)
会館準備積立資産	24,176,401	(0)	(24,176,401)	(0)
小 計	33,934,657	(0)	(33,934,657)	(0)
合 計	143,034,657	(0)	(143,034,657)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	50,187,545	42,838,096	7,349,449
工作物	6,800,000	6,460,000	340,000
車両運搬具	2,790,000	2,650,500	139,500
合 計	59,777,545	51,948,596	7,828,949

5. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
千葉県債	46,976,500	47,343,100	366,600
千葉県債	31,694,145	32,096,862	402,717
千葉市債	30,000,000	30,108,000	108,000
合計	108,670,645	109,547,962	877,317

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地方公共団体補助金	千葉県	0	21,600,000	21,600,000	0	—
日本消防協会補助金	公財) 日本消防協会	0	5,408,028	5,408,028	0	—
福祉共済事業補助金	公財) 日本消防協会	0	3,858,238	3,858,238	0	—
合計	計	0	30,866,266	30,866,266	0	

7. 引当金の明細

引当金の内訳並びに、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,068,000	1,166,000	1,068,000	0	1,166,000
合計	1,068,000	1,166,000	1,068,000	0	1,166,000

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第33条に規定する「重要な固定資産の明細」及び「引当金の明細」は財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細書は作成しない。